

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010302 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月16日		(金)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	防災業務委託								
	発生場所	1F 消防車庫						2018/3/2	2018/3/2	2018/3/2
	作業主管G	防災安全グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/27	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-73
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	紙・ウエス類	A	01	D	A	2.5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	2.5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0383
				2018/3/5
調整後保管日時		2018年3月16日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/16 12:30	2 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/16 12:30	4.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010302 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月16日	(金)	12:30	承認	審査	作成				
	作業件名	防災業務委託									
	発生場所	1F 消防車庫			2018/3/13	2018/3/13	2018/3/13				
	作業主管G	防災安全グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/27	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-73				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	難燃シート	C	02	D	A	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	可燃物その他	A	04	D	A	2.5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	3	難燃物その他	C	04	D	A	1.5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	4						m ²				
	5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0384
				2018/3/14
調整後保管日時		2018年3月16日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃シート	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/16 12:30	0.3 m ²			1
	2	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/16 12:30	0.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作業主管理	保管希望日時	2018年3月12日		(月)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	大型機器点検建屋								
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
G記入欄	線量測定年月日	2018/2/9		測定者			測定器名	電離箱		
							管理番号	F1-ICW-129		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・段ボール	A	01	D	A	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
入欄メモ	2	木材	A	03	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3	ポリ・ビニール類	A	02	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	4						m ²			
	5						m ²			
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0399
				2018/3/5
調整後保管日時		2018年3月12日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
メ	1	1	紙・段ボール	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/12 10:30	1 m ²			1
	2	1	木材	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/12 10:30	0.2 m ²			1
	3	1	ポリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/12 10:30	0.7 m ²			1
												m ²			
												m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
モ															

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
	②		状 態	D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013402 - 0040

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月12日		(月)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	5・6号機建屋内清掃業務委託(その3)										
	発生場所	5号機 T/B 2FL 中操空調機械室						2018/3/5	2018/3/5	2018/3/5		
	作業主管G	機械グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/3/1		測定者			測定器名	NaIシンチレーション		管理番号	F1-SC-135	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③								
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類			A	02	D	B	0.05 m ²	0.2 μSv/h	0.2 μSv/h	無
	2	難燃シート類			C	02	D	B	0.02 m ²	0.2 μSv/h	0.2 μSv/h	無
	3	ゴム類(パッキン, Vベルト)			C	01	D	A	0.1 m ²	0.2 μSv/h	0.2 μSv/h	無
	4	可燃物その他			A	04	D	B	0.02 m ²	0.2 μSv/h	0.2 μSv/h	無
	5	紙・ウエス類			A	01	D	B	0.5 m ²	0.2 μSv/h	0.2 μSv/h	無
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0411
				2018/3/5
調整後保管日時		2018年3月12日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/12 9:15	0.2 m ²			1
	2	1	難燃シート類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/12 9:15	0.1 m ²			1
	3	1	ゴム類(パッキン, Vベルト)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/12 9:15	0.2 m ²			1
	5	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/12 9:15	0.8 m ²			1
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0026

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	HTT浄化ライン増設工事(1F-1~4号機 タービン建屋浄化ライン他設置工事)								
	発生場所	HTT建屋 4号タービン建屋			2018/3/6	2018/3/6	2018/3/6			
	作業主管G	処理設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
線量測定年月日	2018/2/27	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-117F1-ICW-BL-103		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	可燃物(紙・ウエス類)	A	01	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	可燃物(プラ・ポリ類)	A	02	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注:	α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0413
				2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月14日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(紙・ウエス類)	2 μ Sv/h	10 μ Sv/h		エリアO	2018/3/14 8:00	1.4 m ²			1
	2	1	可燃物(プラ・ポリ類)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/14 8:00	3.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	大型土嚢運搬業務委託									
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)						2018/3/6	2018/3/6	2018/3/6	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	可燃物その他	A	04	D	B	4 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
4						m ³					
5						m ³					
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	03	—	0422	2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月14日		8:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/14 8:10	2.2 m ³			1
	2	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/14 8:10	1 m ³			1
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/14 8:10	1 m ³			1
									m ³			
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0006

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	大型土嚢運搬業務委託								
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)						2018/3/6	2018/3/6	2018/3/6
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	ゴム類	C	01	D	B	0.5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2	ホース類	C	03	D	B	0.5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
入欄メ	3	難燃物その他	C	04	D	B	3 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	4									
	5									
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0423
				2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月14日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄メ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	3	1	難燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/14 8:30	0.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ												
モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013104 - 0002																																																																																																											
作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時		2018年3月13日			(火)		10:30			承認		審査		作成																																																																																																								
	作業件名		1～4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事																																																																																																																				
	発生場所		2～4号機タービン建屋エリア										2018/3/6		2018/3/6		2018/3/6																																																																																																						
	作業主管G		トレンチ対策グループ					監理員				TEL																																																																																																											
	元請会社							担当者				TEL																																																																																																											
	線量測定年月日		2018/3/6		測定者				測定器名		ICWBH($\beta + \gamma$)		管理番号		1F-ICWBH-5																																																																																																								
	No.		※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率																																																																																																								
	1		ホース類				0.5 m ²		0.003 mSv/h		0.003 mSv/h		β 有		0.2 mSv/h																																																																																																								
	2						m ²																																																																																																																
	3						m ²																																																																																																																
4						m ²																																																																																																																	
5						m ²																																																																																																																	
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																																																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th colspan="2">測定日</th> <th colspan="10">2018年3月13日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="13">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="13">F1-ICWBL-55</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="13"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="13"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="13"></td> </tr> </tbody> </table>																線量測定内容												測定日		2018年3月13日										測定No.	氏名	測定器	管理番号													1		ICWBL	F1-ICWBL-55													2																3																4															
線量測定内容																																																																																																																							
測定日		2018年3月13日																																																																																																																					
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																																				
1		ICWBL	F1-ICWBL-55																																																																																																																				
2																																																																																																																							
3																																																																																																																							
4																																																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>保管 実績 記入 欄 メ モ</th> <th>No.</th> <th>枝 番</th> <th>保 管 物 名</th> <th>測定場所 雰囲気線量率</th> <th>表面線量率</th> <th>$\beta + \gamma$ 線量率</th> <th>保管場所</th> <th>保管日時</th> <th>物 量</th> <th>再利用/ 減容可否</th> <th>コンテナNo.</th> <th>測定No.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>ホース類</td> <td>5 μSv/h</td> <td>5 μSv/h</td> <td>80 μSv/h</td> <td>エリアX</td> <td>2018/3/13 10:20</td> <td>0.2 m²</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載</p>																保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.		1	1	ホース類	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	80 μ Sv/h	エリアX	2018/3/13 10:20	0.2 m ²			1										m ²													m ²													m ²													m ²																													
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																																											
	1	1	ホース類	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	80 μ Sv/h	エリアX	2018/3/13 10:20	0.2 m ²			1																																																																																																											
									m ²																																																																																																														
									m ²																																																																																																														
									m ²																																																																																																														
									m ²																																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="5">※カ テ ゴ リ</th> <th rowspan="5">①</th> <th rowspan="5">A</th> <th rowspan="5">可 燃 物</th> <th colspan="2">01 紙・ウエス類</th> <th colspan="2">02 プラスチック・ホリ・ビニール類</th> <th colspan="2">03 木材類</th> <th colspan="2">04 可燃物その他</th> <th colspan="2">05</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">06</td> <td colspan="2">07</td> <td colspan="2">08</td> <td colspan="2">09</td> <td colspan="2">10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">01 金属ガラ</td> <td colspan="2">02 コンクリートガラ</td> <td colspan="2">03 機器類・制御盤類</td> <td colspan="2">04 土砂類</td> <td colspan="2">05 塩化ビニール類</td> </tr> <tr> <td colspan="2">06 保温材</td> <td colspan="2">07 石綿含有物</td> <td colspan="2">08 ケーブル類</td> <td colspan="2">09 アスファルトガラ</td> <td colspan="2">10 不燃物その他</td> </tr> <tr> <td colspan="2">11 フランジタンク本体</td> <td colspan="2">12 フランジタンク付属品</td> <td colspan="2">13</td> <td colspan="2">14</td> <td colspan="2">15</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">②</td> <td rowspan="3">B</td> <td rowspan="3">不 燃 物</td> <td colspan="2">01 ゴム類</td> <td colspan="2">02 難燃シート類</td> <td colspan="2">03 ホース類</td> <td colspan="2">04 難燃物その他</td> <td colspan="2">05</td> </tr> <tr> <td colspan="2">01 伐採木(幹・根)</td> <td colspan="2">02 伐採木(枝・葉)</td> <td colspan="2">03</td> <td colspan="2">04</td> <td colspan="2">05</td> </tr> <tr> <td colspan="2">01 状態</td> <td colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</td> <td colspan="2">③</td> <td colspan="2">履歴</td> <td colspan="2">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)</p> <p>注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。</p> <p>注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、$\beta + \gamma$線量率欄に「$\beta + \gamma$」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、$\beta + \gamma$線量率の記載不要。</p>																※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		06		07		08		09		10		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15		②	B	不 燃 物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		01 状態		D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																		
※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05																																																																																																											
				06		07		08		09		10																																																																																																											
				01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																																																											
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																																																											
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15																																																																																																											
②	B	不 燃 物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05																																																																																																												
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05																																																																																																												
			01 状態		D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																												

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0017

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月16日		(金)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H29)									
	発生場所	定検機材倉庫(A)						2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/21	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-221	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	① ② ③										
	1	紙・ウエス	A	01	D	B	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.4 mSv/h
	2	紙・ウエス	A	01	D	B	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.35 mSv/h
3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.3 mSv/h	
4	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.15 mSv/h	
5						m ²					
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0443
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月16日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス	5 μSv/h	5 μSv/h	400 μSv/h	エリアX	2018/3/16 10:40	1 m ²			1
	2	1	紙・ウエス	5 μSv/h	5 μSv/h	350 μSv/h	エリアX	2018/3/16 10:40	1 m ²			1
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	5 μSv/h	5 μSv/h	300 μSv/h	エリアX	2018/3/16 10:40	1 m ²			1
	4	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	5 μSv/h	5 μSv/h	150 μSv/h	エリアX	2018/3/16 10:40	1 m ²			1
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		E	燃 料	01	石油類	02	石炭類	03	木質系	04	その他	05	—
01	石油類			02	石炭類	03	木質系	04	その他	05	—		
F	燃 料	01	石油類	02	石炭類	03	木質系	04	その他	05	—		
		01	石油類	02	石炭類	03	木質系	04	その他	05	—		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0107

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	SARRY II 新設工事								
	発生場所	増設多核種						2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
線量測定年月日	2018/3/6	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-108F1-ICWRW-35	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃物(紙)	A	01	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	可燃物(ビニール、プラスチック)	A	02	D	A	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
3	可燃物(発砲スチロール)	A	04	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0451
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月14日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(紙)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/14 10:45	0.5 m ²			1
	2	1	可燃物(ビニール、プラスチック)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/14 10:45	1.8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0107

作業 主 管 欄	保管希望日時	2018年3月16日		(金)	8:00		承認	審査	作成			
	作業件名	SARRY II 新設工事										
	発生場所	増設多核種						2018/3/8	2018/3/8	2018/3/8		
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/3/6		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-108F1-ICWRW-35	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③								
	1	可燃物(ブルーシート)	A	02	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2	難燃物(ピンクシート)	C	02	D	A	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
メ モ	3					m ²						
	4					m ²						
	5					m ²						
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0460
				2018/3/8
調整後保管日時		2018年3月16日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	難燃物(ピンクシート)	2 μSv/h	3 μSv/h		エリアO	2018/3/16 8:00	0.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013707 - 0107																																																																																																													
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月16日 (金) 10:00				承認		審査		作成																																																																																																													
	作業件名	SARRY II 新設工事																																																																																																																					
	発生場所	多核種除去設備建屋、増設多核種除去設備建屋				2018/3/8		2018/3/8		2018/3/7																																																																																																													
	作業主管G	処理設備グループ				監理員		TEL																																																																																																															
	元請会社					担当者		TEL																																																																																																															
	線量測定年月日	2018/3/6		測定者		測定器名		ICWBL		管理番号 F1-ICWBL-6																																																																																																													
	No.	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率																																																																																																													
		① ② ③								β・α 汚染の有無																																																																																																													
										β + γ 線量率																																																																																																													
		1	紙・ウエス	A	01	D	B	0.5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無																																																																																																									
	2	プラスチック・ホリ・ビニール	A	02	D	B	0.5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無																																																																																																										
	3	可燃その他	A	04	D	B	0.2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無																																																																																																										
	4	難燃シート	C	02	D	B	0.2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無																																																																																																										
	5							m ²																																																																																																															
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																																																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="15">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th colspan="2">測定日</th> <th colspan="13">2018年3月16日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="12">管理番号</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="12">F1-ICW-158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="12"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="12"></td> </tr> </thead> </table>															線量測定内容															測定日		2018年3月16日													測定No.	氏名	測定器	管理番号												1		ICW	F1-ICW-158												2															3															4														
線量測定内容																																																																																																																							
測定日		2018年3月16日																																																																																																																					
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																																				
1		ICW	F1-ICW-158																																																																																																																				
2																																																																																																																							
3																																																																																																																							
4																																																																																																																							
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.																																																																																																		
	1	1	紙・ウエス		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO		2018/3/16 9:15		0.7 m ²						1																																																																																																		
	2	1	プラスチック・ホリ・ビニール		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO		2018/3/16 9:15		0.5 m ²						1																																																																																																		
	3	1	可燃その他		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO		2018/3/16 9:15		0.1 m ²						1																																																																																																		
	4	1	難燃シート		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO		2018/3/16 9:15		0.4 m ²						1																																																																																																		
															m ²																																																																																																								
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																						
	メ																																																																																																																						
	モ																																																																																																																						
	※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		—																																																																																																								
06 —					07 —		08 —		09 —		10 —																																																																																																												
B			不 燃 物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																																																											
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																																																											
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —																																																																																																											
C			難 燃 物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		—																																																																																																									
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05		—																																																																																																									
D			伐 採 木																																																																																																																				
②			状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																												
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																																																																																																																							

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	G6、H6北タンクエリア						2018/3/8	2018/3/8	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/1	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	難燃物(木製パレット)	A	03	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0465
				2018/3/8
調整後保管日時		2018年3月14日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物(木製パレット)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/14 10:10	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2018年3月16日		(金)	11:30		承認	審査	作成					
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事												
	発生場所	G6、H6北タンクエリア						2018/3/8	2018/3/8					
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL							
	元請会社					担当者	TEL							
	線量測定年月日	2018/2/1		測定者			測定器名	ICWBL						
							管理番号	F1-ICWBL-130						
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率					
									$\beta + \alpha$ 汚染の有無					
									$\beta + \gamma$ 線量率					
1	可燃物(フレコンパック)	A	04	D	B	2	m ³	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.15	mSv/h
2							m ³							
3							m ³							
4							m ³							
5							m ³							
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	03	—	0466
				2018/3/8
調整後保管日時		2018年3月16日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月16日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(フレコンパック)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	100 μ Sv/h	エリアW1	2018/3/16 10:50	0.2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0005

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事								
	発生場所	6号機T/B北東斜面 (GI-14 北側)						2018/3/8	2018/3/8	2018/3/7
	作業主管 G	土木保全・総括グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/3/6	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	伐採木	D	02	W	A	4 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
伐採木 1台 4m3										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0470
				2018/3/8
調整後保管日時		2018年3月14日		8:30
【保管時の指示事項等】				
枝葉は直接エリアVに保管願います。				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木				エリアV(伐採木)	2018/3/14 8:35	4 m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		
						A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012603 - 0031

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月16日		(金)	9:00		承認	審査	作成						
	作業件名	1FSFP塩分除去関連廃棄物処理委託													
	発生場所	1号機 原子炉建屋						2018/3/9	2018/3/9	2018/3/9					
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ				監理員			TEL						
	元請会社					担当者			TEL						
	線量測定年月日	2018/3/5		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-72				
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率					
	1	難燃シート類	C	02	D	B	0.2	m ²	0.03	mSv/h	0.05	mSv/h	β 有	0.2	mSv/h
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.2	m ²	0.03	mSv/h	0.05	mSv/h	β 有	0.2	mSv/h
	3	紙・ウエス	A	01	W	B	0.1	m ²	0.03	mSv/h	0.15	mSv/h	β 有	0.5	mSv/h
	4	難燃物その他	C	04	D	A	0.1	m ²	0.03	mSv/h	0.05	mSv/h	β 有	0.2	mSv/h
5	可燃物その他(パッキン)	A	04	D	A	0.1	m ²	0.03	mSv/h	0.15	mSv/h	β 有	6.15	mSv/h	
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。															

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0481
				2018/3/9
調整後保管日時		2018年3月16日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	80	μ Sv/h	200	μ Sv/h						
メ モ	1	1	難燃シート類	5	μ Sv/h	80	μ Sv/h	200	μ Sv/h	エリアW1	2018/3/16 9:25	0.2	m ²		1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	5	μ Sv/h	50	μ Sv/h	100	μ Sv/h	エリアW1	2018/3/16 9:25	0.2	m ²		1
	3	1	紙・ウエス	5	μ Sv/h	60	μ Sv/h	100	μ Sv/h	エリアW1	2018/3/16 9:25	0.1	m ²		1
	4	1	難燃物その他	5	μ Sv/h	60	μ Sv/h	100	μ Sv/h	エリアW1	2018/3/16 9:25	0.1	m ²		1
	5	1	可燃物その他(パッキン)	5	μ Sv/h	600	μ Sv/h	1.5	mSv/h	エリアW1	2018/3/16 9:25	0.1	m ²		1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。													

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無 β 有	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①		②										
	6	ゴム類	C	01	D	A	0.1	m ²	0.03	mSv/h	0.15	mSv/h		6.15	mSv/h
	7						m ²								
	8						m ²								
	9						m ²								
	10						m ²								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	03	—	0481

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013707 - 0107	
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月16日			(金)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	SARRY II 新設工事									
	発生場所	多核種除去設備建屋、増設多核種除去設備建屋							2018/3/8	2018/3/8	2018/3/8
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/3/6		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-6
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	紙・ウエス	A	01	W	B	1.5 m ²	0.01 mSv/h	1 mSv/h	β 有	12 mSv/h
	2	可燃その他	A	04	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h
	3	難燃シート	C	02	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.2 mSv/h	β 有	3 mSv/h
	4	難燃その他	C	04	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	1 mSv/h	β 有	15 mSv/h
	5						m ²				
	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0487
				2018/3/9
調整後保管日時		2018年3月16日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス	5 μSv/h	200 μSv/h	4 mSv/h	エリアX	2018/3/16 9:35	1.5 m ²			1
	2	1	可燃その他	5 μSv/h	200 μSv/h	3.5 mSv/h	エリアX	2018/3/16 9:35	0.2 m ²			1
	3	1	難燃シート	5 μSv/h	180 μSv/h	5 mSv/h	エリアX	2018/3/16 9:35	0.5 m ²			1
	4	1	難燃その他	5 μSv/h	70 μSv/h	1.8 mSv/h	エリアX	2018/3/16 9:35	0.2 m ²			1
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
				B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
						11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月16日		(金)	12:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~4号機 サブドレン他サンプルタンク付属設備設置並びに同関連除却工事								
	発生場所	サブドレンサンプルタンクエリア					2018/3/12	2018/3/12	2018/3/12	
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	ICW(B)		管理番号	F1-ICWBL-130	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃その他	A	04	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	難燃その他	C	04	D	B	4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メモ	難燃物(PE管)は90cmカットで梱包せず持ち込みます。 固体廃棄物管理G殿了解済み。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0497
				2018/3/12
調整後保管日時		2018年3月16日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/16 11:50	1 m ²			1
	2	1	難燃その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/16 11:50	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有	履歴			
					A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

計上No.	6013704	-	0017
-------	---------	---	------

作業	保管希望日時	2018年3月12日				(月)	10:00		承認	審査	作成
	作業件名	タンクの減容・保管委託(H29)(その2)									
主	発 生 場 所	定検機材倉庫A							2018/3/9	2018/3/9	2018/3/9
	作 業 主 管	G 水処理設備部 貯留設備グループ				監 理 員			TEL		
管	元 請 会 社					担 当 者			TEL		
	線量測定年月日	2017/11/27	測定者				測定器名	F1-ICWBL、H		管理番号	189,29
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α汚 染の有無	β + γ 線量率	
	保 管 物 名		①	②	③						
記 入 欄	1	フランジタンク片側板 (T170138)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	2	フランジタンク片側板 (T170011)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	3	フランジタンク片側板 (T170064)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	4	フランジタンク片側板 (T170080)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	5	フランジタンク片側板 (T170121)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h
メモ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積込み、保管致します。										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	03	—	0557	
調整後保管日時			2018年3月12日		10:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				測定場所 雰囲気線量率					21	m ³			
	1	1	フランジタンク片側板 (T170138)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/12 10:00	21	m ³		T170138	1
	2	1	フランジタンク片側板 (T170011)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/12 10:00	21	m ³		T170011	1
	3	1	フランジタンク片側板 (T170064)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/12 10:00	21	m ³		T170064	1
	4	1	フランジタンク片側板 (T170080)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/12 10:00	21	m ³		T170080	1
	5	1	フランジタンク片側板 (T170121)	2 (μ) Sv/h	4 (μ) Sv/h	4 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/12 10:00	21	m ³		T170121	1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰 囲 気 線 量 率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚 染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率				
			①	②	③										
	6	フランジタンク片側板 (T170137)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	(m) Sv/h	0.002	(m) Sv/h	無		(m) Sv/h
	7	フランジタンク片底板 (170176)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	(m) Sv/h	0.002	(m) Sv/h	無		(m) Sv/h
	8									(m) Sv/h		(m) Sv/h			(m) Sv/h
	9									(m) Sv/h		(m) Sv/h			(m) Sv/h
	10									(m) Sv/h		(m) Sv/h			(m) Sv/h
										(m) Sv/h		(m) Sv/h			(m) Sv/h
										(m) Sv/h		(m) Sv/h			(m) Sv/h
										(m) Sv/h		(m) Sv/h			(m) Sv/h

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	03	—	0557

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量		再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	フランジタンク片側板 (T170137)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/12 10:00	21	m ²		T170137	1
	7	1	フランジタンク片底板 (I70176)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	6 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/12 10:00	21	m ²		I70176	1
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h				m ²			
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h				m ²			
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h				m ²			
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h				m ²			
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h				m ²			
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h				m ²			
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h				m ²			
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h				m ²			
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h				m ²			
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h				m ²			
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h				m ²			
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h				m ²			
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h				m ²			
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h				m ²			
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h				m ²			
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h				m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B 不燃物		01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	C 難燃物		11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
			01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D 伐採木		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

計上No.	6013704	-	0017
-------	---------	---	------

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	03	—	0558	
					2018/3/10
調整後保管日時			2018年3月12日		10:00
【保管時の指示事項等】					

保管 No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所	表面線量率	$\beta + \gamma$	保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
			雰囲気線量率		線量率								
実績 記録 入 欄	1	1	フランジタンク片天板 (T170111)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアPI(フランジタンク)	2018/3/12 10:00	21	m ³		T170111	1
	2	1	フランジタンク片天板 (T170114)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアPI(フランジタンク)	2018/3/12 10:00	21	m ³		T170114	1
	3	1	フランジタンク片天板 (T170119)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアPI(フランジタンク)	2018/3/12 10:00	21	m ³		T170119	1
	4	1	フランジタンク片天板 (T170120)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアPI(フランジタンク)	2018/3/12 10:00	21	m ³		T170120	1
	5	1	フランジタンク片天板 (T170130)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアPI(フランジタンク)	2018/3/12 10:00	21	m ³		T170130	1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	03	—	0558

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0017

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	10:00		承認	審査	作成				
	作業件名	タンクの減容・保管委託(H29)(その2)											
	発生場所	定検機材倉庫A						2018/3/9	2018/3/9	2018/3/9			
	作業主管G	水処理設備部 貯留設備グループ				監理員	TEL						
	元請会社					担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/3/5		測定者			測定器名	F1-ICWBL		管理番号	100		
	No.	保管物名			※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α汚染の有無	β+γ線量率	
		①	②	③									
	1	フランジタンク片天板(T170207)			B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	() Sv/h
	2	フランジタンク片天板(T170273)			B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	() Sv/h
	3	フランジタンク片天板(T170166)			B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	() Sv/h
	4	フランジタンク片天板(T170252)			B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	() Sv/h
	5								m ²	() Sv/h	() Sv/h		() Sv/h

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。
※20ftコンテナに積み込み、保管致します。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	03	—	0559
				2018/3/10
調整後保管日時		2018年3月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片天板(T170207)	2 (μ) Sv/h	4 (μ) Sv/h	4 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/13 10:00	21 m ²		T170207	1
	2	1	フランジタンク片天板(T170273)	2 (μ) Sv/h	6 (μ) Sv/h	6 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/13 10:00	21 m ²		T170273	1
	3	1	フランジタンク片天板(T170166)	2 (μ) Sv/h	6 (μ) Sv/h	6 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/13 10:00	21 m ²		T170166	1
	4	1	フランジタンク片天板(T170252)	2 (μ) Sv/h	6 (μ) Sv/h	6 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/13 10:00	21 m ²		T170252	1
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h			m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0017

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	10:00		承認	審査	作成				
	作業件名	タンクの減容・保管委託(H29)(その2)											
	発生場所	定検機材倉庫A						2018/3/9	2018/3/9	2018/3/9			
	作業主管	水処理設備部 貯留設備グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2017/12/18		測定者			測定器名	F1-ICWBL		管理番号	189		
	No.	保管物名			※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α汚 染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③									
	1	フランジタンク片天板 (T170255)			B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	2	フランジタンク片天板 (T170225)			B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	3	フランジタンク片天板 (T170259)			B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.003 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	4	フランジタンク片天板 (T170236)			B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	5	フランジタンク片天板 (T170293)			B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0560
				2018/3/10
調整後保管日時		2018年3月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片天板 (T170255)	2 (μ) Sv/h	3 (μ) Sv/h	3 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/13 10:00	21 m ²		T170255	1
	2	1	フランジタンク片天板 (T170225)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/13 10:00	21 m ²		T170225	1
	3	1	フランジタンク片天板 (T170259)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/13 10:00	21 m ²		T170259	1
	4	1	フランジタンク片天板 (T170236)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/13 10:00	21 m ²		T170236	1
	5	1	フランジタンク片天板 (T170293)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/13 10:00	21 m ²		T170293	1
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	②	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状態		D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0017

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンクの減容・保管委託(H29)(その2)									
	発生場所	定検機材倉庫A							2018/3/9		
	作業主管G	水処理設備部 貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/10/26	測定者		測定器名	F1-ICWBL	管理番号	189			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α汚 染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	フランジタンク片天板 (T170028)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	2	フランジタンク片天板 (T170181)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	3						m ²	(m) Sv/h	(m) Sv/h		(m) Sv/h
	4						m ²	(m) Sv/h	(m) Sv/h		(m) Sv/h
	5						m ²	(m) Sv/h	(m) Sv/h		(m) Sv/h
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0561
				2018/3/10
調整後保管日時		2018年3月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片天板 (T170028)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/13 10:00	21 m ²		T170028	1
	2	1	フランジタンク片天板 (T170181)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/13 10:00	21 m ²		T170181	1
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h			m ²			
				() Sv/h	() Sv/h	() Sv/h			m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0017

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンクの減容・保管委託(H29)(その2)									
	発生場所	定検機材倉庫A									
	作業主管	G水処理設備部 貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/1	測定者			測定器名	F1-ICWBL		管理番号	100,221	
G No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α汚 染の有無	β+γ 線量率	
	①	②	③								
	1	フランジタンク片天板 (T170205)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	2	フランジタンク片天板 (T170209)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	3	フランジタンク片天板 (T170202)	B	11	D	A	21 m ²	0.001 (m) Sv/h	0.001 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	4	フランジタンク片天板 (T170200)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h
5	フランジタンク片天板 (T170215)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0562
				2018/3/10
調整後保管日時		2018年3月14日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片天板 (T170205)	2 (μ) Sv/h	3 (μ) Sv/h	3 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/14 10:00	21 m ²		T170205	1
	2	1	フランジタンク片天板 (T170209)	2 (μ) Sv/h	4 (μ) Sv/h	4 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/14 10:00	21 m ²		T170209	1
	3	1	フランジタンク片天板 (T170202)	2 (μ) Sv/h	4 (μ) Sv/h	4 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/14 10:00	21 m ²		T170202	1
	4	1	フランジタンク片天板 (T170200)	2 (μ) Sv/h	4 (μ) Sv/h	4 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/14 10:00	21 m ²		T170200	1
	5	1	フランジタンク片天板 (T170215)	2 (μ) Sv/h	4 (μ) Sv/h	4 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/14 10:00	21 m ²		T170215	1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—		
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—		
		B	不 燃 物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類		
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—		
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—		
		②	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚 染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③									
	6	フランジタンク片天板 (T170182)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	(m) Sv/h	0.002	(m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	7	フランジタンク片天板 (T170203)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	(m) Sv/h	0.002	(m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	8	フランジタンク片天板 (T170192)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	(m) Sv/h	0.002	(m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	9	フランジタンク片天板 (T170208)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	(m) Sv/h	0.002	(m) Sv/h	無	(m) Sv/h
	10							m ²		(m) Sv/h		(m) Sv/h		(m) Sv/h

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	03	—	0562

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	フランジタンク片天板 (T170182)	2	(μ) Sv/h	3	(μ) Sv/h	3	(μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/14 10:00	21 m ²		T170182	1
	7	1	フランジタンク片天板 (T170203)	2	(μ) Sv/h	3	(μ) Sv/h	3	(μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/14 10:00	21 m ²		T170203	1
	8	1	フランジタンク片天板 (T170192)	2	(μ) Sv/h	4	(μ) Sv/h	4	(μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/14 10:00	21 m ²		T170192	1
	9	1	フランジタンク片天板 (T170208)	2	(μ) Sv/h	4	(μ) Sv/h	4	(μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/14 10:00	21 m ²		T170208	1
					() Sv/h		() Sv/h		() Sv/h			m ²			
					() Sv/h		() Sv/h		() Sv/h			m ²			
					() Sv/h		() Sv/h		() Sv/h			m ²			
					() Sv/h		() Sv/h		() Sv/h			m ²			
					() Sv/h		() Sv/h		() Sv/h			m ²			
					() Sv/h		() Sv/h		() Sv/h			m ²			
					() Sv/h		() Sv/h		() Sv/h			m ²			
					() Sv/h		() Sv/h		() Sv/h			m ²			
					() Sv/h		() Sv/h		() Sv/h			m ²			
					() Sv/h		() Sv/h		() Sv/h			m ²			
					() Sv/h		() Sv/h		() Sv/h			m ²			
					() Sv/h		() Sv/h		() Sv/h			m ²			
					() Sv/h		() Sv/h		() Sv/h			m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
			01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
	B 不燃物		06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C 難燃物		01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D 伐採木		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0017

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンクの減容・保管委託(H29)(その2)									
	発生場所	定検機材倉庫A						2018/3/9	2018/3/9	2018/3/9	
	作業主管	G水処理設備部 貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/1/29		測定者			測定器名	F1-ICWBL		管理番号	100
	No.	保管物名		※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α汚染の有無	β+γ線量率
			①	②	③						
1	フランジタンク片天板 (T170218)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h	
2	フランジタンク片天板 (T170217)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h	
3	フランジタンク片天板 (T170228)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h	
4	フランジタンク片天板 (T170210)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 (m) Sv/h	0.002 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h	
5	フランジタンク片天板 (T170177)	B	11	D	A	21 m ²	0.001 (m) Sv/h	0.001 (m) Sv/h	無	(m) Sv/h	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	03	—	0563
				2018/3/10
調整後保管日時		2018年3月14日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片天板 (T170218)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/14 10:00	21 m ²		T170218	1
	2	1	フランジタンク片天板 (T170217)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/14 10:00	21 m ²		T170217	1
	3	1	フランジタンク片天板 (T170228)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/14 10:00	21 m ²		T170228	1
	4	1	フランジタンク片天板 (T170210)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/14 10:00	21 m ²		T170210	1
	5	1	フランジタンク片天板 (T170177)	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	2 (μ) Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/14 10:00	21 m ²		T170177	1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②				状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				
		注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
		注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
		注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0004

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月15日		(木)	12:00		承認	審査	作成	
	作業件名	通用門設置エリア(構外西門周辺)における残置物の運搬委託								
	発生場所	1F構外				2018/3/13	2018/3/13	2018/3/13		
	作業主管G	廃棄物計画グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-120
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	① ② ③									
1	ノッチタンク			B 10 D A	80 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無		
2					m ²					
3					m ²					
4					m ²					
5					m ²					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 不明物品扱い									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0007
				2018/3/13
調整後保管日時		2018年3月15日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ノッチタンク ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/15 9:30	80 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日	(火)	11:00	承認	審査	作成				
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】									
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他(GP-20)			2018/2/27	2018/2/26	2018/2/26				
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
G	線量測定年月日	2018/1/25	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-72			
記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	可燃物	A	04	D	B	1 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2	養生シート	C	02	D	B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
5						m ²					
メ モ	回収 ALPS南西側 GP-20 大型フォークリフト停車エリア付近										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0027
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月12日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/12 10:30	0.7 m ³			1
	2	1	養生シート	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/12 10:30	0.2 m ²			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		
						A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0029														
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年3月13日		(火)		11:30		承認		審査		作成											
	作業件名		雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】																					
	発生場所		B、C、E、G、Hタンクエリア関係他 (GP-20)						2018/2/27		2018/2/26		2018/2/26											
	作業主管G		貯留設備グループ				監理員		TEL															
	元請会社						担当者		TEL															
	線量測定年月日		2018/1/10		測定者		測定器名		電離箱式サーベイメータ		管理番号		F1-ICWBL-113											
	No.		保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率								
	1		発泡スチロール			A 02 D B		5 m ³		0.003 mSv/h		0.003 mSv/h		無										
	2							m ³																
	3							m ³																
4							m ³																	
5							m ³																	
回収 ALPS建屋南西側 GP-20(大型フォークリフト停車エリア)																								
<div> <div> <div>固体廃棄物管理G記入欄</div> <div>受付</div> </div> <div> <div>受付番号</div> <div> <div>高2018</div> <div>—</div> <div>03</div> <div>—</div> <div>0028</div> </div> <div>2018/2/27</div> </div> <div> <div>調整後保管日時</div> <div>2018年3月12日</div> <div>11:00</div> </div> <div>【保管時の指示事項等】</div> <div>発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。</div> </div>																								
<div> <div>線量測定内容</div> <div> <div>測定日</div> <div>2018年3月12日</div> </div> <div> <div>測定No.</div> <div>氏名</div> <div>測定器</div> <div>管理番号</div> </div> <div> <div>1</div> <div></div> <div>ICW</div> <div>F1-ICW-158</div> </div> <div> <div>2</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div>3</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div>4</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> </div>																								
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1		1		発泡スチロール		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO		2018/3/12 10:25		5 m ³						1	
																	m ³							
																	m ³							
																	m ³							
																	m ³							
																	m ³							
																	m ³							
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																							
	メ モ																							
<div> <div>※カテゴリ</div> <div> <div>①</div> <div> <div>A 可燃物</div> <div> <div>01 紙・ウエス類</div> <div>02 プラスチック・ポリ・ビニール類</div> <div>03 木材類</div> <div>04 可燃物その他</div> <div>05 —</div> </div> <div>06 —</div> <div>07 —</div> <div>08 —</div> <div>09 —</div> <div>10 —</div> </div> <div>B 不燃物</div> <div> <div>01 金属ガラ</div> <div>02 コンクリートガラ</div> <div>03 機器類・制御盤類</div> <div>04 土砂類</div> <div>05 塩化ビニール類</div> <div>06 保温材</div> <div>07 石綿含有物</div> <div>08 ケーブル類</div> <div>09 アスファルトガラ</div> <div>10 不燃物その他</div> <div>11 フランジタンク本体</div> <div>12 フランジタンク付属品</div> <div>13 —</div> <div>14 —</div> <div>15 —</div> </div> <div>C 難燃物</div> <div> <div>01 ゴム類</div> <div>02 難燃シート類</div> <div>03 ホース類</div> <div>04 難燃物その他</div> <div>05 —</div> </div> <div>D 伐採木</div> <div> <div>01 伐採木(幹・根)</div> <div>02 伐採木(枝・葉)</div> <div>03 —</div> <div>04 —</div> <div>05 —</div> </div> </div> <div>② 状態</div> <div>D:乾燥, W:湿気有</div> <div>③ 履歴</div> <div>A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</div> </div>																								
<div> <div>注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)</div> <div>注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。</div> <div>注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。</div> </div>																								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】								
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他 (GO-22南)					2018/2/26	2018/2/26	2018/2/26	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/1/17	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-72	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	シート	C	02	D	B	2 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
2	エフレックス	C	04	D	B	2 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
3	段ボウル	A	01	D	B	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
回収 大型メンテナンス建屋南西側 (GN-23付近)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0038
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月12日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	シート	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/12 10:40	0.01 m ²			1
	3	1	段ボウル	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/12 10:40	0.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月13日	(火)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】								
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他 (GP-20)			2018/2/27	2018/2/26	2018/2/26			
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/1/10	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号 F1-ICWBL-113			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	発泡スチロール	A	02	D	B	4 m ³	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2	紙	A	01	D	B	1 m ³	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	3						m ³			
	4						m ³			
	5						m ³			
	回収 ALPS建屋南西側 GP-20(大型フォークリフト停車エリア)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0039
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月12日		11:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年3月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	紙	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/12 10:25	1 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業主管理	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	12:00		承認	審査	作成						
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】													
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他 (GO-22南)						2018/2/26	2018/2/26	2018/2/26					
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL								
	元請会社					担当者	TEL								
線量測定	線量測定年月日	2018/1/17		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-72				
	No.	保管物名			※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率			
1	ビニール			A	02	D	B	5	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
2									m ²						
3									m ²						
4									m ²						
5									m ²						
メモ	回収 大型メンテナンス建屋南西側 (GN-23付近)														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0040
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月13日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
メモ	1	1	ビニール	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/13 10:30	1	m ²		1
													m ²		
													m ²		
													m ²		
													m ²		
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メモ															

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月12日	(月)	9:30	承認	審査	作成				
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務									
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/3/2	2018/3/2	2018/3/2				
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/3/2	測定者		測定器名	F1-SC	管理番号 078				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	ペットボトル	A	02	D	A	5 m ³	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				
	回収										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0084
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月12日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認、 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ペットボトル	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/12 9:30	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月12日	(月)	10:00	承認	審査	作成
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務					
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL	
	元請会社				担当者	TEL	
	線量測定年月日	2018/3/2	測定者		測定器名	F1-SC	管理番号
							078
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			β・α 汚染の 有無
	1	ペットボトル	A	02	D	A	5 m ²
2						m ²	
3						m ²	
4						m ²	
5						m ²	
回収							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0085
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月12日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認、 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ペットボトル	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/12 9:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年3月13日	(火)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/3/2	2018/3/2	2018/3/2			
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/3/2	測定者		測定器名	F1-SC	管理番号	078		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	ダンボール	A	01	D	A	5 m ²	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
メ モ	4						m ²			
	5						m ²			
回収										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0086
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月13日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認、 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/13 9:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月13日		(火)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務										
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)						2018/3/2	2018/3/2	2018/3/2		
	作業主管G	総務グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/3/2	測定者			測定器名	F1-SC		管理番号	078		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
1	ダンボール		A	01	D	A	5 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無		
2							m ²					
3							m ²					
4							m ²					
5							m ²					
メモ	回収											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0087
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認、 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容					
測定日	2018年3月13日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号		
1		ICW	F1-ICW-158		
2					
3					
4					

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h								
1	1	ダンボール	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/3/13 9:30	4.5 m ²				1
											m ²				
											m ²				
											m ²				
											m ²				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —	
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —	
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
②	D	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0037

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月15日		(木)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	6W タンク点検手入工事									
	発生場所	5号機 S/B入口付近(GI-15 中央)					2018/3/5	2018/3/5	2018/3/5		
	作業主管G	廃棄物設備グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/3/1	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-27	
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	木材類	A	03	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4	可燃物その他(皮製品、縄ロープ)	A	04	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.07 mSv/h	無	
メ モ	5	ゴム類	C	01	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	回収 可燃・難燃										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0088
				2018/3/5
調整後保管日時		2018年3月15日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	4 μSv/h		エリアO	2018/3/15 10:15	0.2 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/15 10:15	0.3 m ²			1
	3	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/15 10:15	0.05 m ²			1
	4	1	可燃物その他(皮製品、縄ロープ)	2 μSv/h	8 μSv/h		エリアO	2018/3/15 10:15	0.1 m ²			1
	5	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/15 10:15	0.05 m ²			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③										
	6	難燃シート類	C	02	D	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.04	mSv/h	無		
	7						m ²								
	8						m ²								
	9						m ²								
	10						m ²								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	03	—	0088

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0005

作業主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月12日		(月)	10:30	承認	審査	作成
	作業件名	1F-1~4号機 サブドレン他集水タンク付属設備設置工事						
	発生場所	旧1~4 スクリーンエリア(GH-23 南側)				2018/3/2	2018/3/2	2018/3/2
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
メ モ	線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	ICWB	
						管理番号	F1-ICWBL-130	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率
	1	木材類	A	03	D	B	5 m ³	0.01 mSv/h
メ モ	2					m ³		
	3					m ³		
	4					m ³		
	5					m ³		
	回収 注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0092
				2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月14日		9:30
【保管時の指示事項等】 日時調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/14 9:40	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
	D	伐 採 木						
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013705 - 0005

作業主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月12日		(月)	12:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~4号機 サブドレン他集水タンク付属設備設置工事								
	発生場所	旧1~4 スクリーンエリア(GH-23 南側)					2018/3/2	2018/3/2	2018/3/2	
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/28		測定者			測定器名	ICWB	管理番号 F1-ICWBL-130	
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
5						m ²				
メ	回収									
モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0093
				2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月14日		10:00
【保管時の指示事項等】				
日時調整をしています。				
発生場所にて管理票の確認。				
運搬車を配備致しますので				
保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/14 9:45	2.8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ												
モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0005

作業主管理	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~4号機 サブドレン他集水タンク付属設備設置工事							
	発生場所	サブドレン集水タンクエリア (GH-23 南)				2018/3/5	2018/3/5	2018/3/5	
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
G記入欄	線量測定年月日	2018/2/28	測定者		測定器名	ICWB		管理番号	F1-ICWBL-130
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	A 02	D B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2				m ²				
メ モ	回収								
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0094
				2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月14日		10:30
【保管時の指示事項等】				
日時調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/14 9:45	2.7 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0005

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~4号機 サブドレン他集水タンク付属設備設置工事								
	発生場所	サブドレン集水タンクエリア (GH-23 南)						2018/3/5	2018/3/5	2018/3/5
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	ICWB		管理番号	F1-ICWBL-130
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	ゴム類	C	01	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2	難燃物その他	C	04	D	B	4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
回収 注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0095
				2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月14日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴム類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/14 10:20	0.5 m ²			1
	2	1	難燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/14 10:20	1.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴		
						A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0005

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年3月16日		(金)	9:00		承認	審査	作成					
	作業件名	1F-1~4号機 サブドレン他集水タンク付属設備設置工事												
	発生場所	サブドレンサンブルタンクエリア (GR-19 南)												
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員	TEL							
	元請会社					担当者	TEL							
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	ICW(B)		管理番号	F1-ICWBL-130				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率				
		①	②	③										
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2							m ²						
3							m ²							
4							m ²							
5							m ²							
メ モ	回収 注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0096
				2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月16日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/16 9:30	4.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0010

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月16日		(金)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~4号機 サブドレン他サンプルタンク付属設備設置並びに同関連除却工事							
	発生場所	サブドレンサンプルタンクエリア (GR-19 南)				2018/3/5	2018/3/5	2018/3/5	
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	ICW(B)	管理番号	F1-ICWBL-130
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	5 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h
2						m ³			
3						m ³			
4						m ³			
5						m ³			
回収 注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0098
				2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月16日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/16 9:30	2.9 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013801 - 0007

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月14日		(水)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F ウェルタンク整備工事									
	発生場所	6.0m盤(GH-25東)						2018/3/5	2018/3/5	2018/3/5	
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/3/3	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-31	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	ビニルシート			A	04	D	B	5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
2								m ²			
3								m ²			
4								m ²			
5								m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0100
				2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月14日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニルシート	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/14 8:20	1.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニル類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニル類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニル類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No.		6013803 - 0009	
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月15日			(木)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	1F 1～4号機 漏洩水拡散防止設備修繕工事(その2)											
	発生場所	雨水タンクエリア (GR-27中央)							2018/3/6	2018/3/6	2018/3/6		
	作業主管 G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/3/2		測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	紙・ウエス類		A	01	W	A	0.5 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無		
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類		A	02	W	A	0.5 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無		
	3	可燃その他		A	04	W	A	0.5 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無		
4	木材		A	03	W	A	0.5 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無			
5							m ²						
回収													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0103
				2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月15日		9:00
【保管時の指示事項等】				
時間調整をしています。				
発生場所にて管理票の確認。				
運搬車を配備致しますので				
保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/15 9:15	1.2 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/15 9:15	2.2 m ²			1
	2	2	プラスチック・ポリ・ビニール類 (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/15 9:15	0.3 m ²			1
	4	1	木材	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/15 9:15	0.5 m ²			1
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。